

レインボータウンFM66

伊藤広規 「旅と人と音楽と」

(第 66回 2019.1.30 OA)

【第66回オープニング】

みなさんこんばんは。ベーシストの伊藤広規です。

レインボータウンFM、伊藤広規「旅と人と音楽と」

今夜は第66回目！それでは行ってみましょう！

【新】【説明1】

この番組は、周波数88.5メガヘルツ「レインボータウン FM」から 江東区をキーステーションにその周辺のエリアにお届けしています。

サイマルラジオ、リスラジなどのインターネットラジオなら、日本のみならず世界中でお聞きいただけます。

【トーク】

もうすぐ2月ですねー。2月といえばFEB。

今夜は少し早めですが、「2月」縛りのFEB 特集でお送り致します。

まず1曲目は、アルバム THE FEB からウィリー・ディクソンのカバーで「Talk To Me Baby」

【1 曲目が流れる】

私にとって誕生月でもある特別な2月。私の周りには2月生まれのミュージシャンがやたら、います。でもって、この週末からそのFEB 集団でツアーします。

【問】

この始まりは、1999年。

私、伊藤広規、横内健亨、森園勝敏の3人が顔を合わせた時、「2月 生まれのミュージシャンを集めてライブをしよう!」という事になり、これまで30人余りの2月生まれや、そうではない(笑) そうそうたる音楽家が集まって行ったライブ。昨年が20周年だと気がつきまして。それではDVD を作っちゃおう!と、小川美朝の発案で、ホームグラウンドの横浜 STORMY MONDAY でライブを撮影し、レコーディング!映像監督には、CM界の巨匠 飯島章博を招き、後世に残すが如く「THE FEB」で、CD&DVD を作っちゃいました。

【問】

CD&DVD を作ってみて、改めて2月生まれで個性的な奴ばかり。~2月生まれ 考え甘いが 演奏うまい~ 好調に世の中で売れてます。買ってくれた方々、ありがとう~!

じゃあ今年はツアーしよう!20年間の出演者 皆で遠征となると大変な事になるので、FEB 最小人数の7人のメンバーで、2月2日名古屋、2月3日浜松、2月4日京都の3ヶ所で節分ツアーをすることになりました。

【1 曲目 終わり 2 曲目】

2曲目は Get.Out.My.Life

【曲途中から】

FEBのメンバーが集うのは2月だけ。毎回、ライブは冬の真っ只中で、雪が降った時もありました。

出演者が20人を超えることもあって、1曲ごとにステージに誰かが出たり誰かが入ったりで、演奏しない時はライブハウスの外で待機。ステージはメガネが曇るほど暑くて、外は寒さでかじかむ。いつでも風邪をひきそうな状態でのライブです。何回か、ギタリストが5人、ドラムが3人という時もありました。演奏する曲もブルースやロックから小川美朝の個性的なJPOPまで。みんな、自分の誕生日祭なんで、やりたい放題に好きな曲を出してくる。

いつからか、私がFEB会社の社長という肩書きになり、森園勝敏は常務、横内タケは取り締まれ役(笑)、岡沢茂は部長、小川美朝は会長、非常勤理事に金子マリ、松川純一郎は係長。杉山タカオは課長、西本明は派遣社員、今剛は非常勤ゲストとか。

2月にしか集まらないFEB。学生の頃の同級生が集まった様に盛り上がります。

【2 曲目が終わる】【3 曲目】

3曲目は「南の花嫁さん」

FEB10年目くらいの時、メンバーの1人が来ないんです。連絡してみると、鎌倉でレコーディングしてるとのこと。会場は横浜。本番には間に合うからと。

しかしなかなか来ない。本番始まってからしばらくして連絡があったのですが、電車を乗り越してしまって品川にいる。結局その年は彼は欠席でした。森園勝敏。

【問】

ライブで旅するのは、ミュージシャンにとっては日常茶飯事なんですが、ことFEBでの旅はどう考えても珍道中になる事でしょう。なにせ、FEBは、~2月生まれ 考え甘いが 演奏うまい~ですから(笑)

ライブの情報は私のホームページ、facebookをご覧ください。

名古屋、浜松、京都の皆さん、お楽しみに~!

《曲終わり》

【エンディング 短い】

さて、今週の伊藤広規 旅と人と音楽と。みなさんいかがでしたでしょうか？

この番組への感想や私へのメッセージなど、伊藤広規『旅と人と音楽と』公式サイトからいただけるととっても嬉しいです。URLはKokiradio.net(コーキレディオドットネット)、アルファベットでケーオーケーアイ アールエーディーアイオードットネットです。

メッセージをくださった方の中から毎月1名さまに、プレゼント。

広規チャリティバンダナと広規ラジオ 特製グッズをプレゼントします。

今月もドシドシメッセージお待ちしております。

では、来週も水曜日

この時間に!

《問】

伊藤広規でした。